事業実施 の目的

事業内容

・成果

(R4年度)

岐阜県では、令和4年3月に改訂した「岐阜県幼児教育アクションプラン『ぎふっこ』すこやかプラン」に基づき、「つな

ぐ・高める・支える」幼児教育を推進する。その具現のため、組織を整え、本事業に取り組む。

〈つなぐ〉幼児教育と小学校教育とをつなぐ取組の強化

〈高める〉遊びを通した指導の充実と保育内容の評価・改善、教職員の資質及び専門性の向上

〈支える〉多様な幼児への支援の充実、家庭教育・子育て支援体制の整備

岐阜県幼児教育 アクションプラン



1. 主な取組内容について

【架け橋期のカリキュラム開発会議】

右図のように組織を整え、全体会を1回、ワーキンググループを 2回、地区別カリキュラム開発会議を2回実施した。

【架け橋期のカリキュラム】

ワーキンググループでは、5領域と「特別な支援」について6つの接続期カリキュラムを開発した。育みたい資質・能力を幼児・児童の姿から捉えて明らかにするとともに、指導する事項や留意すべき事項を分かりやすく記述し、どの世代の教職員にも架け橋期の指導の見通しをもつことができるよう、領域等毎に1枚にまとめた。

【園・小学校における体制】

協力園・小学校においては、当該市町教育委員会等関係部局の指導のもと、地域の実態に即した接続期カリキュラムの開発や幼保小の連携を実施した。例えば、学園構想を掲げている地区(園・小学校)では、0歳から15歳までを見通した15年間カリキュラムと架け橋期を取り出した接続期カリキュラムの開発に取り組んだ。

【自治体における体制】

協力園・小学校に大学研究者等を派遣し、地域の課題に即した研修を行った。

2. 主な成果について

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼児・ 児童の姿について協議し、保育・教育内容の相互理解を図ること ができた。
- ・地区(園・小学校)として共に育みたい幼児・児童像を明らかに し、カリキュラムの方向性を見出すことができた。

岐阜県幼児教育推進会議 推進事務局 ■「岐阜県幼児教育アクショ 幼稚園教育課程研究協議会 ◎教育委員会 義務教育課 ンプラン」の実践状況の把 ○健康福祉部 子育て支援課 小学校教育課程研究協議会 握と評価・改善 園長等運営管理協議会 ○環境生活部 私学振興・青少年課 ・公立幼稚園・こども園長 幼保小連携講座 · 教育委員会 教育研修課 会、私立幼稚園連合会、民 幼児教育指導力向上講座 教育委員会 特別支援教育課 キャリアステージに応じた研修 間保育園・認定こども園連 関係課 食育:体育健康課 盟、保育士会、小学校長会、 運動:地域スポーツ課 保護者、民間子育て支援団 絵本:文化伝承課 成果の普及 体等代表者で構成 〈カリキュラム開発会議〉 研修動画作成会議 ■本事業の目的・構想の共通理解 県・全体会 ■「(仮称)架け橋 期のぎふっこの 県・ワーキンググループ ■プログラムの開発 学びとくらし」 幼稚園教諭、保育士等養成大学研究者 の作成 · 幼児教育、小学校(生活科)研究団体代表者 委託業者 各地区教育事務所 【岐阜】 【西濃】 【中濃】 【東濃】 【飛騨】 土岐市 活用 ■教育・保育内容の相互理解 ■地域課題に即したプログラムの実践、検証 ·協力園 · 小学校、当該市町教育委員会 · 関係部局 -□─体的に推進 ↓ CS等 □普及・啓発□ 家庭・地域 岐阜県幼稚園教育研究協議会(公私立共同研究) 岐阜県保育研究協議会 子育て支援 家庭教育学級 ・岐阜県民間保育園・認定こども園連盟 ・岐阜県小中学校教育研究会(生活科部会)

【幼保小の架け橋プログラム 組織図】

事業実施

地域・

協力園校

MATE (R4年度)

北方町(公:小1、幼1、保4 私:幼1

神戸町(公:小1、幼保1)

可児市(公:小1、幼1、保1 私:幼1、こ1)

土岐市(公:小1、幼1、保1) 飛騨市(公:小1 私:保1) 今後の目標 (R5年度)

- ・協力園・小学校から県内全ての園・小学校へ、架け 橋期の重要性と指導の見通しが共有されるよう、引 き続き、幼保小の架け橋プログラムを推進していく。
- ・接続期カリキュラムの見直しを進めながら、教職員 向け研修動画を作成する。

成し す

〈既存の資料の活用〉

岐阜県では、平成30年3月に、 「育ちや学びがつながる・深まる岐 阜県版接続期カリキュラム」を作成 し、各園・小学校におけるカリキュ ラムの整備を進めてきた。

本事業においても、既存の資料を 基に開発・実践を進める地区(園・ 小学校)が多い。



岐阜県版接続期 カリキュラム

_		
		幼児期
月		4月~5月
ねらい		
視点	【自ら学ぶ力】 ・思考力の芽生え ・数量や図形、標識や文字な どへの関心・感覚 ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現	
	【人と関わる力】 ・自立心 ・協同性 ・道徳性・規範意識の芽生え	
	【生活する力】 ・健康な心と体 ・社会生活との関わり ・自然との関わり・生命尊重	
主な活動		((
小学校に向けての気持ち		
子どもへの配慮		((
家庭・地域との連携 (家庭○・地域☆)		

〈5領域と「特別な支援」について開発したカリキュラム〉

県内の幼稚園教諭、保育士等養成大学から13人の研究者を招聘し、ワーキ ンググループを編成した。そして、5領域と「特別な支援」について6つの接 続期カリキュラムを開発した。当カリキュラムを活用し、各地区(園・小学 校)は、白園・校のカリキュラムの見直しを進める。

